

⑫ 公開特許公報(A) 平1-242378

⑤Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

④公開 平成1年(1989)9月27日

B 66 B 3/00
1/50K-7828-3F
7828-3F

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑥発明の名称 エレベータ装置

②特 願 昭63-68711

②出 願 昭63(1988)3月23日

⑦発明者 福 水 幸 子 東京都港区芝5丁目33番1号 日本電気株式会社内

⑧出願人 日本電気株式会社 東京都港区芝5丁目33番1号

⑨代理人 弁理士 菅 野 中

明 細 書

1. 発明の名称

エレベータ装置

2. 特許請求の範囲

1. 建屋の必要な階への停止指令を発するパネルスイッチを装備したエレベータ装置において、前記パネルスイッチとして、外部操作によって電気接点の開閉が交互に繰り返されるオンオフスイッチを用いたことを特徴とするエレベータ装置。

3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

本発明はエレベータ装置に関し、特に、人が乗り、エレベータ内部で行き先を指示し人や荷物の運搬を行うエレベータ装置に関する。

〔従来の技術〕

従来、この種のエレベータ装置は、一度エレベータ内のパネルスイッチを押して目的地のフロア番号を指定してしまうと、その番号を取り消すことができなかった。

〔発明が解決しようとする課題〕

上述したように、従来のエレベータ装置は一旦パネルスイッチを押してフロア番号を指定すると、その番号を取り消すことができない構造になっているので、目的地のフロア番号を間違えて現在地点により近いフロア番号を指定してしまうと、エレベータは間違ったフロアで一旦停止等の不要な動作をしてしまう。それはまた、エレベータの利用者にとっても、無駄な時間を費す結果になってしまう。

本発明の目的は前記課題を解決したエレベータ装置を提供することにある。

〔発明の従来技術に対する相違点〕

上述した従来のエレベータ装置に対し、本発明は、フロア番号指定誤りの取消しや再指定が可能であるという相違点を有する。

〔課題を解決するための手段〕

上記目的を達成するため、本発明においては、建屋の必要な階への停止指令を発するパネルスイッチを装備したエレベータ装置において、前記パネルスイッチとして、外部操作によって電気接点

の開閉が交互に繰り返されるオンオフスイッチを用いたものである。

〔実施例〕

以下、本発明の一実施例を図により説明する。

第1図(a)において、高層の建屋内を昇降するエレベータ内には停止する建屋の各階(フロア)を指定するパネルスイッチ1が各階(フロア)に対応させて設けられており、パネルスイッチ1を操作すると、エレベータの図示しないコントローラがこれを検出してエレベータを必要なフロアに停止させる。

本発明は前記パネルスイッチ1として、外部操作により電気接点の開閉が交互に繰り返されるオンオフスイッチを用いたものである。

第1図(a)はパネルスイッチ1を押す前の状態を示す。フロア番号はどこも指定されていないので、エレベータは停止している。第1図(b)はパネルスイッチ1を押してフロア番号を指定した状態を示すものである。この場合、パネルスイッチ1により4階を指定したため、4階の停止指令を

発するパネルスイッチ1がONとなり、ランプが点灯する。第1図(c)は指定したフロア(4階)が誤りだったので、再度パネルスイッチ1を押して取消した状態を示すものである。4階の停止指令を発するパネルスイッチ1を再度操作すると、電気接点が開き、4階の停止指令を取り消す指令が発せられ、結果としてランプは消灯する。第1図(d)は改めて行こうとするフロアを指定している状態を示すものである。4階への停止指令をパネルスイッチ1により発した後、希望する5階への停止指令をパネルスイッチ1により入力すると、エレベータの図示しないコントローラはパネルスイッチ1からの入力に基いて4階への停止を解除し、エレベータを5階に停止させる。

第2図は、従来のエレベータ装置との比較図である。第2図(a)は本発明のエレベータ装置、第2図(b)は従来のエレベータ装置である。第1図に示した一連の操作により、本発明によるエレベータ装置Eでは、建屋2の4階に停止することなく5階に直接到着する。これに対し、従来のエレ

ベータ装置では、一度指定した4階は取り消しが効かないため、5階に到着する前に、用のない4階に途中停止をしてしまう。

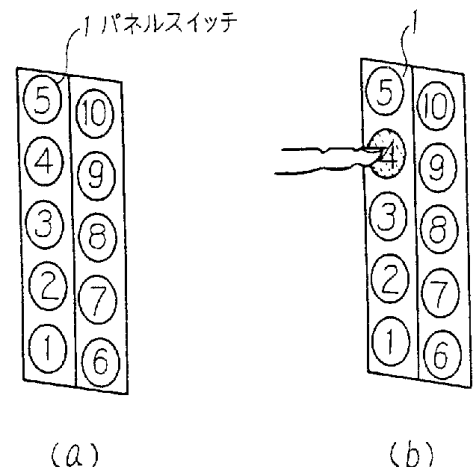
〔発明の効果〕

以上説明したように本発明はエレベータ装置内のフロアスイッチにオンオフスイッチを採用することにより、フロア番号指定誤りの取消しや再指定を行うことができ、指定を違えたために用のないフロアで一旦停止してしまうことを防止でき、無駄な時間をなくすることができるという効果がある。

4. 図面の簡単な説明

第1図(a)～(d)は本発明の一実施例を示す図、第2図(a)、(b)は本発明と従来のエレベータ装置の動作状態を比較する図である。

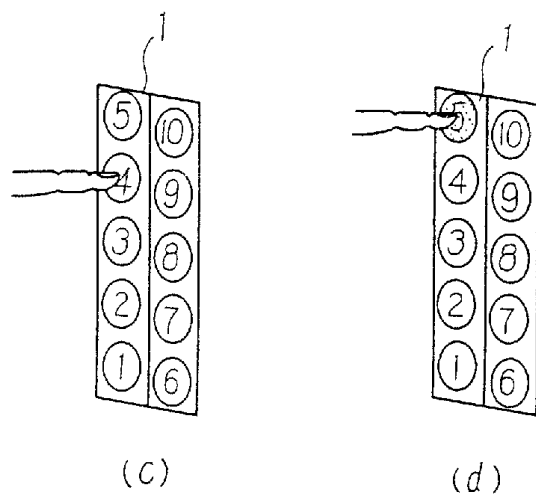
1…パネルスイッチ



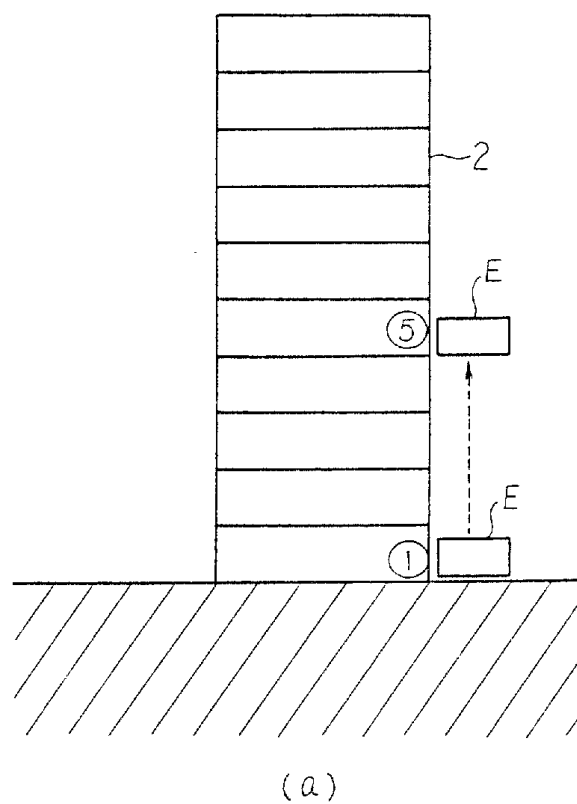
第1図

特許出願人 日本電気株式会社
代理人 弁理士 菅野 中

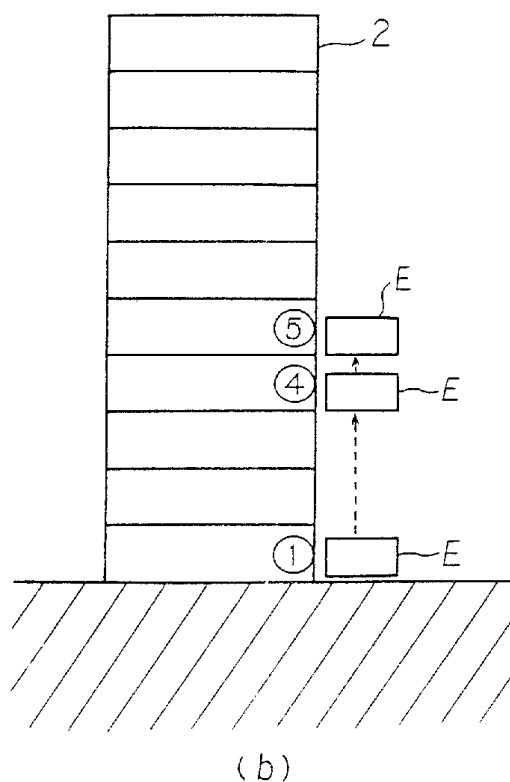




第1図



第2図



第2図